

2. 経営方針

●基本方針

JAグループでは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、「持続的な農業」と「豊かなくらしやすい地域社会」を実現するため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標とする自己改革の取り組みを加速しています。

JA松阪では、自己改革計画を盛り込んだ「第10次中期経営計画」（平成28年度から平成30年度まで）を平成28年6月開催の第31回通常総代会で決定しました。現在、JA改革は自らで行うという強い覚悟で、JA松阪の自己改革に取り組んでいます。

平成30年度は、JA松阪第10次中期経営計画の最終年度となります。組合員の皆様からの声を真摯に受けとめながら、JA松阪ビジョンを基本姿勢とし、「地域オンリーワンを目指して」をスローガンに、「多彩な農業の維持・拡大」「元気な地域づくり」「組織経営基盤の強化」の3つを柱とする基本目標と7つの全体戦略の実践の総仕上げに向けて、組合員の皆様とともに、スピード感と危機感をもって、役職員が一丸となって取り組んでまいります。

—役職員行動指針—

わたしたちは、

1. 常に組合員・地域社会への貢献を意識します。
1. 地域とのつながりを大切にし、組合員・地域住民のくらしを応援します。
1. スピード感を持って、自ら「考え」「変わり」「行動」します。
1. 全役職員が連携し、JAの総合力を発揮します。
1. 一人ひとりが主役となって活躍し、活力ある職場を築きます。

●JA 松阪が目指す方向

